

小 あずさっ子

令和4年度 梓川小学校だより

令和4年12月7日(水)

発行責任者 校長 田中 寛人

特集：開校 50 周年記念式典

すでに、市民タイムスやMGプレス等で広く周知されております開校 50 周年記念式典を 11 月 18 日(金)に実施しました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、誠に勝手ではありますが来賓の方々をお招きせず、児童と職員、50 周年記念事業実行委員会の方々とで行いました。一堂に会することは避けて、体育館へは 6 年生のみ入場し、他学年はオンラインで各教室から参加しました。心温まる祝典ができればと準備してきましたが、コロナ禍のためスリム化して行いました。また、記念事業実行委員会より複数(別記一覧)の記念品も寄贈いただきました。その中には、子どもたちの生活が豊かになるものや記念 DVD があります。DVD には、学年毎に梓川小学校や地域のことを紹介した映像と、ここ 10 年来の P T A 会長・学校長の皆さんとの座談会の様子が記録されています。今の子どもたちの姿をここに映像として残すことができ、大変うれしく思います。

今回は、記念式典の様子を紹介させていただきます。



記念航空写真(校長室蔵)

開校 50 周年記念 松本市立梓川小学校 令和 4 年度撮影

50周年記念事業実行委員会委員長挨拶 三枝 孝章さん

皆様、本日は松本市立梓川小学校開校 50 周年記念を迎え、こうして開校記念式典を開催できたことを大変嬉しく思っております。この 50 年間の長きにわたり梓川小学校の為に尽力をいただきました、梓川地区の皆様、教職員の皆様、開校当時より多大な御協力をいただきました保護者の皆様に心より御礼申し上げます。

私自身も、この梓川小学校の卒業生です。この広い小学校で教育を受けて育った子どもたちは、とても幸せです。そして現在では、この梓川地区に多くのよい人材を育んだと言えます。梓川人として誇りも感じます。来年度からは五十一歩目を踏み出すこととなりますが、現在在校の児童の皆さんにお願いがございます。何年後かの周年事業には、この 50 周年の思い出をもとに、この先保護者として携わっていただければ非常にうれしく思います。次の世代の子どもたちと共に祝ってあげましょう。最後になりますが、学校教職員の皆様、そして保護者の皆様、この紅(くれない)の校舎で生活する子どもたちを時には厳しく、やさしく、あたたかく見守っていただければ幸いでございます。梓川小学校が 70 年、80 年。そして 100 年、200 年と、お祝いできることを心より祈念いたします。(一部略)



児童代表挨拶 児童会長 荒江 杷心さん(6年)

梓川小学校は、開校 50 周年を迎えました。私たちは、開校 50 周年という記念すべき年に、この学校で学んでいることをうれしく思います。

今年の児童会スローガンは、「笑顔の花咲く 仲良しの輪を広げよう」です。このスローガンには、学校全体が笑顔でみんなが仲良くしてほしいという意味が込められています。私自身が「笑顔」という言葉が好きで、笑顔という言葉から幸

せな印象を受けます。『笑顔=幸せ』なのであれば、笑顔の花のように咲けば、学年男女関係なく、みんなが「なかよしの輪を広げられる」と思い、このスローガンに決めました。

みなさんは、あずさ並木のことを知っていますか。あずさ並木は、私の中で一番近くに四季を感じられるところです。春には「満開の桜」。夏には「青々とした葉」。秋には「美しい紅葉」。冬には「枝に積もる雪」というように、目を楽しませてくれます。今は 11 月なので「美しい紅葉」のシーズンですね。地面に落ち葉が広がり、掃除は大変ですが踏むといい音がして、見ることも聞くことも楽しめ



ます。そして、秋と言えばもう一つ「梓川のりんご」です。梓川小では、3年生が育ててくれています。春に芽が出て、夏に実がなる。赤くなったらやっと収穫。私も3年生の時にりんごを育てて、「収穫まで長いな」と思っていました。けれど、自分たちで苦労して育てたりんごは、とても美味しかったです。このように、梓川小には秋だけでなく、すてきなところがたくさんあります。私たち6年生はもう卒業して中学生になりますが、中学生になっても、梓川の素敵なおとこ、いいところをたくさん見つけていきたと思います。まだ卒業までに時間はあるので、梓川小のいいところをもっと知ってもらうために、児童会長として日々努力していきたいと思っています。

これから梓川小学校は長寿命化改良工事に入ってしまう、今までのような景色は見られなくなってしまうかもしれませんが、「あずさっこ かしこく なかよく たくましく」をモットーに、人と人が支え合って、仲良くみんなが笑顔でいられる学校になっていくことを願っています。

学校長挨拶 田中 寛人

開校の年に作られた全校文集「梓川の大地に育つ子供たち」には、「新しき 土の香りの立ち上る 庭は日ごとに 緑ましゆく」と初代校長の降籙先生が書かれています。田・畑を造成して作られた広大な学校敷地は、まだ木も緑もほとんどなく、あちらこちら石ころだらけで、開校前から子どもたちや保護者による整備も進められました。石を拾い、木や芝を植え、少しずつ緑が増えて整備がすすむ様子を喜びと共に詠まれたものです。…開校当時は「みどりの時間」という整備作業が毎週ありました。子どもたち自身の手で校内を整備する時間で、夏の太陽がまぶしい時期でも、外に出て活動していました。当時6年生だった子たちは、こう書いています。「太陽の光で、ぎらぎら焼き付く日のみどりの時間はとてもつらかった。急げたりもした。でも、みんな同じ思いでやっているんだと思いながら頑張った。疲れたけど、学校の周りがきれいになっていくと、私たちも勉強に力が入りました。」…と。これを書いた子は、今年62歳になります。今この学校を見たとき、どんな感想をもつことでしょうか。「素敵な学校になりましたよ。皆さんのおかげです。ありがとう。」と伝えてあげたいです。

また、これまでの教職員や保護者、地域の方々が手を取り合い、様々な教育活動が進められてきました。それが、今、心優しい思いやりのある子どもたちが育つ梓川小学校のもととなっています。私たちは、これまで支えてきていただいた方々の想いを引き継ぎつつ、これから先の50年を育むため、そして、明るい未来を背負う子どもたちのために、保護者の皆様や地域の方々と共に歩んで参りたいと考えております。…記憶にも記録にも残るこの一年に、子どもたちと先生方、保護者の皆様や地域の方々と共に生活できることを縁（えにし）と思い、誇りに感じています。これまで頂いた梓川小学校への数々のご支援に、衷心より感謝申し上げます。また、50周年記念事業にご尽力いただきました実行委員会の保護者の皆様、関係者、学校職員に重ねて感謝申し上げます。（一部略）



梓川小学校開校50周年記念式典



全校でDVD視聴



記念のクリアファイル・記念誌・DVD



御寄贈品目一覧

- 二連木製シーソー 一基
- 丸太平均台修繕
- パワーテント 三基
- 記念DVD※
- 記念誌・クリアファイル※

※は全家庭配布



各教室へ体育館の様子を配信

